

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | ケインズ伝 (10)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

### ケインズ伝 (10)

こうした現代資本主義の危機に対して、過去ケインズが提唱した「[国際清算同盟](#)」案は、きわめて有効な手段です。

それは、現在の「ブレトンウッズⅡ体制」という名の国際通貨体制の持つ欠陥を是正し、金融不安定性の除去に立ち向かう方向、ならびに債権国が外貨を蓄積することで世界経済にデフレ圧力を防く方向が示されているからです。

IMFの機構にはあきらかな問題があります。

設立の経緯からして米国がその主導権を有しています。

最大の出資国である米国は理事長を欧州に譲ってはいませんが、事実上は拒否権を有しています。

債務危機に陥ったときのIMFの融資は、短期資金の融資という性格上のためか債権の回収ばかりに目が向けられ、債務国の再建のための融資になっていないという批判があります。

IMFは、ケインズの主張のように反景気循環的政策のために資金を提供するというより、景気減速に耐えている国々に緊縮財政を要求するケースがほとんどですからその批判は起ころえます。

IMFの手法は景気後退の中で、増税と支出削減を要求し、債務国の景気を悪化させました。

このような批判は、現在の国際金融システムが重大な岐路にあり、もう一度ケインズの構想を再検討して新時代の国際金融システムを築き上げなければならない証拠です。

そして、国際機関を運営している先進各国が自国主義の束縛から抜け出して、世界主義に立脚しない限り、問題は解決しないでしょう。

経済理論の第一の危機は、1930年代の大量失業の中に現れましたが、ケインズの革新的理論と政策のおかげで、我々は危機をなんとか乗り切りました。

ところが、それから数十年経過した今日において、都市が荒廃し、貧富の格差が増大するばかりで世界はめっちゃめちゃな状態に陥っています。

ケインズの「一般理論」には、こう明記されています。

資本主義の欠陥は二つあります。

一つの欠陥は、雇用問題が十分に解決されていないことです。

もう一つの欠陥は、分配問題が十分に解決されていないことです。

『大量の失業者が町にあふれて、人々の間で貧富の差が徐々に拡大しつつある。』

これこそが資本主義の欠陥であるから、早急になんとかしなくてはならない。

だから「一般理論」を一気に書き上げたのだ、とケインズは明確に述べています。

ケインズは「実務家」として実に多様な生き方をしました。

ケインズは普通の学者だったとは決して言えず、会社の社長でもあったし、財務省の役人でもありました。

バレリーナの奥さんと結婚しましたし、有名な美術品の収集家でもありました。

ケインズ自身は、こうして「複眼思考」で、実に多様な生き方をしました。

彼は金銭一辺倒の「経済人」ではなく、ゆとりがあり豊かな生活を目指す「生活者」だったわけです。

IMF（国際通貨基金）とWorld Bank（世界銀行）という戦後経済を支える国際的な枠組みを作り終えたケインズは、その創立総会に出席後、1946年4月21日、亡くなりました。

参考文献：マクロ経済入門-ケインズの経済学-（佐々木浩二）、現代に生きるケインズ（伊東光晴）、なにがケインズを復活させたのか？（ロバート・スキデルスキー）、危機の中でケインズから学ぶ（ケインズ学会）、ケインズ100の名言（平井俊顕）、ケインズは、今、なぜ必要か？（ケインズ学会）

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

▶ キーワード検索はこちら

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▶ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.